



Livedo Corporation

Sustainability REPORT

2025



目次

目次	02		
会社概要	03		
企業理念	04		
わたしたちのミッション	05		
わたしたちのビジョン	05		
地球環境への取り組み	06	社会からの要請	14
1. 紙おむつリサイクル		1. 企業の社会的責任	
2. 省エネルギー施策			
3. 環境との調和		リスクマネジメントへの取り組み	15
地域社会との共生	10	1. 災害時の対応	
1. ノーマライゼーション支援		コンプライアンスへの取り組み	16
2. 地域活性化支援		1. 企業の社会的責任	
3. 地方創生支援			
4. 地域ニーズ対応			
Livedoの人づくり	12		
1. 人財・組織づくり			
2. 働きがいがあり、魅力のある職場づくり			
3. リブサポ			

編集方針と情報開示体系

編集方針

「サステナビリティレポート(以下、本レポート)」は、大切なステークホルダーの皆さまに、わたしたちリブドゥコーポレーションがめざす「永続的に進化・発展・成長し続ける会社」に向けた挑戦と、それをどのように成し遂げていくのかをお伝えしています。本年度は、「Livedo-Vision2030」を実践する社員の姿を通じて、私たちの姿を、より身近に感じていただくことをめざしました。このレポートによって、Livedoをより深く知っていただき、対話と共創のきっかけになれば嬉しく思います。わたしたちリブドゥコーポレーションは、これからも皆さまとの対話を通じて、本レポートの内容充実を図ると共に、さらなる社会への貢献と企業価値向上に努めていきます。

[対象期間] 1025年度(2025年4月1日~2026年3月31日)

*一部に2025年度以前や2026年度の活動(予定)等を含む

[対象組織] 株式会社リブドゥコーポレーションおよび子会社

*一部の環境・社会関連データは株式会社リブドゥコーポレーションが出資する関連会社

[発行年月] 2026年4月

情報開示体系

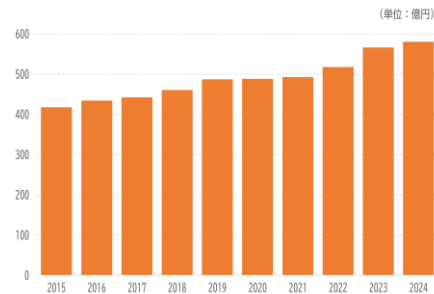
わたしたちリブドゥコーポレーションは、本レポート以外の情報も公開しており、それぞれ開示内容をすみ分けています。その他、補完情報となる当社の各種ウェブサイトもぜひご覧ください。

会社概要

商号	株式会社リブドゥコーポレーション
設立	1965年（昭和40年）4月1日
所在地	大阪本社：大阪府大阪市中央区高麗橋3丁目-4-10 淀屋橋センタービル 四国本社：愛媛県四国中央市金田町半田乙45-2
資本金	7億7324万7805円(2026年3月末現在)

財務状況 (2025年度)

売上高
585億円



外部評価



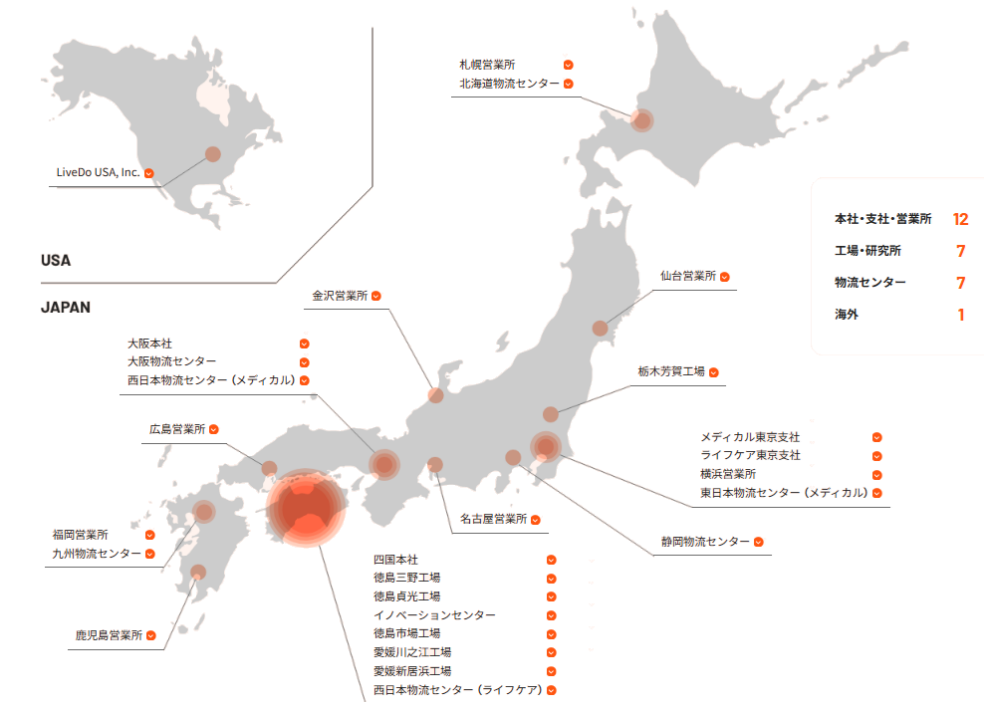
ISO13485

愛媛新居浜工場
愛媛川之江工場

ISO14001

徳島貞光工場 徳島三野工場
徳島市場工場 栃木芳賀工場

事業拠点



企業理念

社 志

CORPORATE
DNA

未来開拓

SEE AHEAD

未来に目を向け
市場を切り拓く

価値創造

CREATE VALUE

社会に役立つ高い価値の
創造に貢献する

無限脱皮

KEEP EVOLVING

若々しい組織として
進化する

わたしたちのミッション

全社
『ささえあう豊かな社会を目指し生きる力を応援し続ける』

ライフケア事業理念
『地域社会の介護インフラを支え、安心した暮らしを応援する』

リフレ ブランドメッセージ
『ひとつひとつの想いと生きていく』

いまこの瞬間にも、排泄ケアを受ける人がいます。
その不便の度合いや不快感は人それぞれ。
本当のところは、誰にもわからないと思うのです。
だからこそ少しでも近くにいたい。
介護を受ける方、介護をする方の声に耳を傾けたい。
声にならない想いまで感じとりたいのです。
いっしょに考え、いっしょに悩み、
いっしょに前を向き、想いを重ねていく。
そして想像力を尽くし、顔がほころぶ瞬間をイメージして
新しい製品や価値を生み出していく。
いつの日か、私たちの製品やサービスが、
介護やケアを受ける方のあらゆる想いに追いつきますように。
介護に携わる皆さまの理想のケアが叶えられますように。
私たちは挑みつけていきます。
今を生きるすべての人が、
いきいきと自分らしく暮らせることを願って。

メディカル事業理念
『地域の中核病院の適正な経営および現場運営を支援する』

モラリス ブランドコンセプト
『医療現場の課題・問題解決をサポートする革新的なソリューションを目指して』
皆様とともに手術室運用の改善を通じて病院経営の効率化に向けた活動を支援いたします。

わたしたちのビジョン

Livedo-Vision2030

『人生100年時代』に健やかな人生を応援する



ESG



企業活動を通じて自然との共生と環境保全に取り組みます

1. 紙おむつリサイクル

1. 紙おむつリサイクル

- ・紙おむつリサイクルの推進
- ・資源再利用に向けた共同研究
- ・バイオ由来SAPの共同開発

2. 省エネルギー施策

- ・レトロフィットメンテナンス
- ・井水を利用した予熱・予冷
- ・太陽光発電設備導入
- ・蓄電池設置
- ・生産ライン統合
- ・高効率トランスへの更新
- ・インバータ化・高効率化
- ・トランシーバーチューナー化
- ・照明のLED化

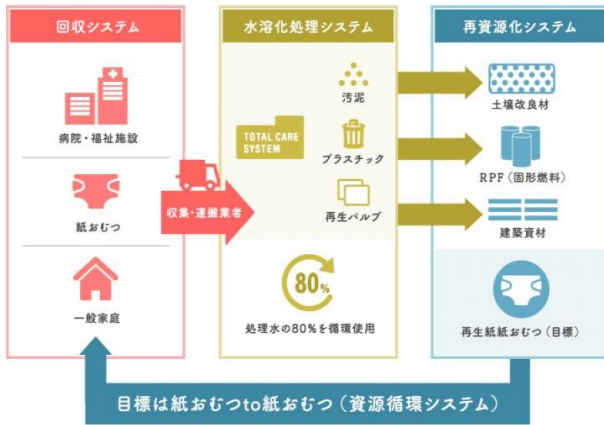
3. 環境との調和

- ・とくしま協働の森
- ・DFL物流アクションプラン
- ・環境方針

紙おむつリサイクルの推進

高齢者人口の増加に伴い、紙おむつの使用量・排出量は増加の一途をたどっており、紙おむつの処理問題は地方自治体にとって大きな課題となっています。福岡県では、17都市圏が連携して「福岡都市圏紙おむつリサイクル検討委員会」を組織し事業化へ向けた取り組みが進められています。

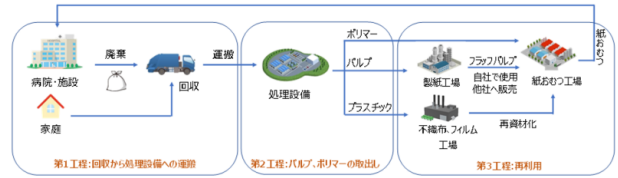
わたしたちリブドゥコーポレーションは、リサイクル事業者であるトータルケア・システム株式会社（福岡市博多区）へ資本参加を行い、紙おむつメーカーの立場から紙おむつリサイクル推進に協働して取り組んでいます。また、全国初の事例として、家庭で使用した紙おむつをリサイクルする自治体（福岡県大木町）の取り組みに共同参加し環境事業と福祉事業が融合する事で在宅高齢者の見守り等が実現する等、地域社会と自然環境に配慮した循環型社会づくりに貢献しています。



資源再利用に向けた共同研究

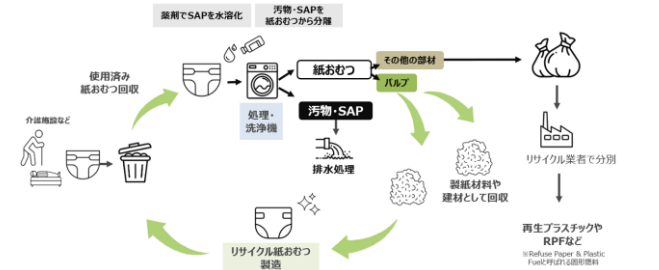
大王製紙株式会社（東京都千代田区）と、2022年6月に使用済み紙おむつから構成部材のパルプ、ポリマー、プラスチックを分離・回収し、それらを資源として再利用するための共同研究に取り組むことに合意しました。ともに紙おむつを製造・販売する企業としてメーカーの垣根を越え、持続可能な社会の実現に引き続き取り組んでまいります。使用済み紙おむつから構成部材を取り出す技術については、トータルケア・システム株式会社（福岡市博多区）より提供を受け、研究を進めます。同社は2005年から福岡県大牟田エコタウン内の「ラブフォレスト大牟田工場」において使用済み紙おむつのリサイクル事業を開始し、水溶化処理によりパルプ、ポリマー、プラスチックを分離・回収するシステムを構築しています。現在、回収し再生処理したパルプは、建築資材の原料（外壁材、内装材等）として利用し、ポリマー、プラスチックは固形燃料の原料として熱回収しています。

今回、トータルケア・システムが有するリサイクル技術をベースに取り出した再生パルプは、大王製紙の技術にて紙おむつの原材料であるフラッフパルプやクレープ紙への加工を、それ以外の回収した構成部材は、リブドゥコーポレーション、大王製紙、トータルケア・システムの3社にて紙おむつなどの吸収性物品への再利用もめざして検討を開始いたします。また、使用済み紙おむつのリサイクル推進に向けて、地方自治体や病院、福祉施設といった排出事業者などの関係者のご協力も得ながらリサイクルフローについても検討し、事業化の目処が立った後は、使用済み紙おむつのリサイクル処理工場の新たな建設も視野に入れ事業化計画の策定を進めます。



バイオ由来SAPの共同開発

長瀬産業株式会社（東京都千代田区）、NAGASEグループの中核製造子会社であるナガセケムテックス株式会社（大阪市西区）は、2024年5月に大人用紙おむつおよび尿ケア専用品の共同開発契約を締結いたしました。本共同開発は、NAGASEグループが開発した高バイオマス度で生分解性があり、かつ高い吸水性能を有するポリマーをリブドゥコーポレーションの大人用紙おむつの吸収体に用い、2027年以降の製品化を目指すものです。高バイオマス度のSAPを使用した環境対応型衛生用品の実用化は先進的な事例であり、介護・医療施設、ドラッグストアなどの市場に向けたサステナブル製品として展開を図ります。





企業活動を通じて自然との共生と環境保全に取り組みます

2. 省エネルギー施策

1. 紙おむつリサイクル

- ・紙おむつリサイクルの推進
- ・資源再利用に向けた共同研究
- ・バイオ由来SAPの共同開発

2. 省エネルギー施策

- ・レトロフィットメンテナンス
- ・井水を利用した予熱・予冷
- ・太陽光発電設備導入
- ・蓄電池設置
- ・生産ライン統合
- ・高効率トランスへの更新
- ・インバータ化・高効率化
- ・トップランナーチラー化
- ・照明のLED化

3. 環境との調和

- ・とくしま協働の森
- ・DFL物流アクションプラン
- ・環境方針
- ・環境ビジョン2050

レトロフィットメンテナンス

既存ビルマルチエアコンの設置から12年が経過している紙おむつ生産工場があり、設置当初の性能を継続維持できなくなってきたため対応する必要があります。オーバーホールでは元の性能に戻る、機器の入れ替えは時間も費用も掛かる、といったことから、既存ビルマルチエアコン合計13台に、レトロフィット用圧縮機と新しい省エネ冷媒制御基板を入れ替え搭載しました。合計で約13.0%、年間で9,650kWhの消費電力削減効果が得られています。

井水を利用した予熱・予冷

紙おむつ生産工場の加工室内では、年間を通じて18℃前後の地下水を予熱・予冷に使用しています。豊富な地下水と適した水質という条件が必要なため、一部の紙おむつ生産工場での取り組みにとどまっていますが、井水コイルによって熱源容量の削減が可能となり、年間117,000kWhの削減効果が得られています。

太陽光発電設備導入

工場敷地内の使用されなくなったテニスコート2面分の遊休地を利用し、徳島市場工場で2025年1月に太陽光発電設備を設置・稼働を開始しました。野立て分と事務所棟屋上分を合わせると、年間で355,483kWhの発電を見込んでおり、全て自家消費をしています。



蓄電池設置

紙おむつ生産工場の1つである徳島市場工場では、太陽光発電設備設置と同時に15kWhの蓄電池を2個設置し、日常的に充電しつつBCP対策として停電時などに利用できるようにしています。

生産ライン統合

紙おむつ専用の生産工場として1987年に新設した徳島三野工場では、約35年間使用した2台の紙おむつ加工機をスクラップにし、1台の新型加工機へと統合しました。単位当たりの消費電力は152kWhから86kWhに低減し、約44%の電力削減効果が得られています。

高効率トランスへの更新

紙おむつ生産工場に設置している電気設備のトランス合計10台を、待機電力が極めて低いタイプの変圧器に更新し、消費電力量の削減を進め、年間104,181kWhの削減効果が得られています。

容量	台数	削減効果(kWh/年)
1000kVA	3	66,217
500kVA	3	33,108
100kVA	1	2,207
50kVA	2	2,207
20kVA	1	441

インバータ化・高効率化

紙おむつ生産工場では、大小合わせると数千個のモーターを使用しています。比較的大きな20kW以上のモーターも数百個以上あるため、2000年頃より毎年継続してインバータ化や高効率モーターへの更新を進め、13台の累計で205,054kWhの削減効果が得られています。

項目	容量	台数	削減効果(kWh)
インバータ化	45kW	3	51,013
	37kW	1	61,153
ファンモータ トップランナー化	90kW	1	12,938
	75kW	3	43,077
	55kW	3	24,388
	45kW	1	5,667
	37kW	1	6,818

トップランナーチラー化

紙おむつ生産工場の空冷式ヒートポンプチラー更新時に、トップランナーのチラーを採用しました。8台合計で約8.3%、年間で約150,000kWhの消費電力削減効果が得られています。

照明のLED化

わたしたちリブドゥコーポレーションの全ての工場は、2011年から照明のLED化を進めています。2025年度現在では、合計7,205台のうち81%にあたる5,843台のLED化を完了しました。蛍光灯の製造・輸入が終了することもあり、残りの1,362台については2027年度までにLED化を完了する予定です。現在までの累計で1,233,434kWhの削減効果が得られています。

実施年度	台数	削減効果(kWh/年)
2011年	161台	14,900
2012年	570台	52,730
2013年	202台	20,000
2014年	436台	119,553
2015年	243台	95,581
2016年	97台	29,046
2017年	210台	145,151
2018年	182台	92,311
2019年	286台	30,307
2020年	731台	112,083
2021年	123台	13,862
2022年	906台	170,273
2023年	602台	94,249
2024年	424台	171,161
2025年	670台	72,227



企業活動を通じて自然との共生と環境保全に取り組みます

3. 環境との調和に向けて



1. 紙おむつリサイクル

- ・紙おむつリサイクルの推進
- ・資源再利用に向けた共同研究
- ・バイオ由来SAPの共同開発

2. 省エネルギー施策

- ・レトロフィットメンテナンス
- ・井水を利用した予熱・予冷
- ・太陽光発電設備導入
- ・蓄電池設置
- ・生産ライン統合
- ・高効率トランスへの更新
- ・インバータ化・高効率化
- ・トランシーバナー化
- ・照明のLED化

3. 環境との調和

- ・とくしま協働の森
- ・DFL物流アクションプラン
- ・環境方針
- ・環境ビジョン2050

とくしま協働の森

紙おむつ生産工場が3つある徳島県は、県土の75%を森林で占める全国でも有数の森林県です。ただ、その森林の約8割が私有林であり、林業に関わる人たちの高齢化も進んでいることから、森林の維持が難しくなってきました。これは森林所有者や県・市町村だけで解決できることではないため、広く企業・団体からの協力も得て「とくしま協働の森づくり」として官民一体で押し進める活動をしており、わたしたちリブドゥコーポレーションの企業理念にも合致するため参画をしています。

「とくしま協働の森づくり」の具体的な活動は、「協賛する企業・団体が徳島県に寄附金を出し、それを元に森林の間伐・伐採などの森の維持管理を行う」というもので、平成22年度事業から「貞光工場の森」として協賛しています。徳島貞光工場（徳島県つるぎ町）の南にある約18ヘクタールの森林の間伐・伐採を行うものです。さらに平成23年度事業として、「三野工場の森」「市場工場の森」として取り組み続けており、過去5年間では合計約296.45ヘクタールについて「リブドゥの森」として間伐・伐採事業に協賛しています。



名称	面積 (ha)	Co2吸収効果 (t-CO2)
三野工場の森	201.06	488.51
貞光工場の森	43.60	411.87
市場工場の森	51.79	458.92

※過去5年間累計（令和3年度～令和7年度）

DFL物流アクションプラン

紙おむつ・生理用品の物流を将来にわたって維持するため、国土交通省、製造メーカー、卸売業者、運送事業者等の関係者間で、2022年にパレット輸送とDFL (Design For Logistics) の取り組みを促進するアクションプランに合意しました。

2024年に開始されたトラックドライバーの罰則付き時間外労働規制（年960時間）によって、ドライバーの長時間労働の改善・物流の生産性向上が喫緊の課題になります。このため、官民連携した検討の場を2021年10月に設置し、手荷役（手積み）からパレット化に向けた方策の検討を重ねてまいりました。

これまでの紙おむつ生産工場の倉庫の仕様は、それぞれ自動倉庫、パレット保管、一部手積みなど異なっており、製品ケースも物流効率を考慮したサイズではありませんでした。そこで、製品仕様、製品折り寸法、入れ方の変更を実施し、まずは栃木芳賀工場発の大型車両での幹線輸送からT11型のパレット化に着手しました。手積みを取りやめることで、ドライバー不足と言う物流業界の課題に対してある程度の効果も見込める結果となりました。今後は一段積みによるパレット枚数の削減や高積みによる積載効率の向上を進め、車両台数を減らすことでCO2排出量の抑制も目指していく予定です。



環境方針

わたしたちリブドゥコーポレーションは、企業理念の中に「環境との調和に真摯に取り組む」という一項を掲げています。これは、「社会全体との調和をめざし、さらに地球環境と企業活動の調和という人類共通の課題にも真摯に取り組む」という企業姿勢を表したものです。わたしたちは、環境との調和を抜きにしては、事業活動を進めていくことができないと考え、環境方針を2012年1月に制定しました。

※2013年2月・2022年9月に一部改定

基本理念
<p>一環境との調和に真摯に取り組む 私たちは、企業が社会の一員であることを深く認識し、社会全体との調和をめざします。さらに、地球環境と企業活動の調和という人類共通の課題にも真摯に取り組めます。（企業理念・抜粋）</p>
行動指針
<p>1. 地球温暖化対策の推進 資源とエネルギーを有効に活用するための改善活動に取り組み、省資源と省エネルギーの推進に努めます。</p> <p>2. 使用資材と廃棄物の削減 生産工程における使用資材および廃棄物の削減ならびに廃棄物の有効利用などの対策を一層推進し、廃棄物最終処分量の減少に努めます。また、資材の調達においても環境負荷が少ない資材の使用に努めます。</p> <p>3. 環境経営のための継続的な改善 環境方針に基づく環境経営を行うにあたっては、計画(Plan)、実施および運用(Do)し、その結果を点検および是正(Check)、見直し(Act)、再度計画を立てる(Plan)というシステム(PDCAサイクル)を構築・運用し、地球環境と調和した企業経営を行うための継続的改善に努めます。</p> <p>4. 地域社会との信頼関係の構築 環境方針を社内外に公開し、環境経営の取り組みについて、積極的な広報・啓蒙活動を行い、地域社会の環境保全に努めるとともに地域社会の持続可能な発展に貢献します。</p> <p>5. 環境啓蒙活動の展開 この環境方針を全社員に周知・浸透させるために教育研修および日常の管理活動を通して、環境意識の向上に努めます。</p> <p>6. 環境関連法規制等の遵守 環境関連法規制はもとより、企業倫理および業界基準や社会からの要求事項を遵守し、環境の保全にとどまらず環境汚染の予防にも努めます。</p> <p>～森林認証について～ 私たちは、森林認証製品を通じて、PEFC-COC制度を理解し、遵守・維持することに努めます。</p>



企業活動を通じて自然との共生と環境保全に取り組みます

3. 環境との調和に向けて

1. 紙おむつリサイクル

- ・紙おむつリサイクルの推進
- ・資源再利用に向けた共同研究
- ・バイオ由来SAPの共同開発

2. 省エネルギー施策

- ・レトロフィットメンテナンス
- ・井水を利用した予熱・予冷
- ・太陽光発電設備導入
- ・蓄電池設置
- ・生産ライン統合
- ・高効率トランスへの更新
- ・インバータ化・高効率化
- ・トッランナーチャラー化
- ・照明のLED化

3. 環境との調和

- ・とくしま協働の森
- ・DFL物流アクションプラン
- ・環境方針
- ・環境ビジョン2050





多彩なコミュニティと共生していくことで、地域社会・文化の発展に寄与します

1. ノーマライゼーション支援

1. ノーマライゼーション支援

- ・ねたきりになら連
- ・エイブル・アート運動

2. 地域活性化支援

- ・とくしま農山漁村応援し隊
- ・徳島ヴォルティス
- ・三好長慶 武者行列まつり
- ・芳賀 町民祭

3. 地方創生支援

- ・企業版ふるさと納税
- ・ふるさと納税返礼品事業
- ・ネーミングライツ

4. 地域ニーズ対応

- ・献血バス
- ・地元採用
- ・部活動寄附

ねたきりになら連

車椅子を利用する方々にも阿波おどりを楽しんでもらうためのノーマライゼーション活動が1993年に徳島で始まりました。わたしたちリブドゥコーポレーションは2002年からこの「ねたきりになら連（徳島県徳島市）」の活動を24年にわたって支援し続けてきました。めざす介護のあり方に共通の想いがあることから、わたしたちはこれからも「ねたきりになら連」を応援していきます。



©ねたきりになら連

エイブル・アート運動

「エイブル・アート」は、“アートの社会化、社会のアート化”をテーマに、障がいのある人たちのアートの力で豊かな社会の実現をめざす市民運動です。愛媛新居浜工場、栃木芳賀工場、大阪本社には、エイブル・アートを支援する「たんぼの家（奈良県奈良市）」の画家たちの個性あふれる絵画やイラストの作品を飾っています。いのちの現場に製品をお届けする企業として、さまざまな活動を通してこれからも「ともに生きる」取り組みを一緒に展開していきます。



2. 地域活性化支援

とくしま農山漁村（ふるさと）応援し隊

徳島県の面積の8割以上を占める中山間地域。そこで繰り広げられる農林漁業の生産・生活や文化の継承の営みにより、美しい景観の保全、水資源の涵養や土砂崩壊の防止などの多面的な機能が発揮され、その恩恵を私たちは知らず知らずにかけています。しかし、過疎化・高齢化により、多くの農山漁村のコミュニティ機能が低下し、生活に影響が出るなど、深刻な問題が懸念されています。わたしたちリブドゥコーポレーションでは、このような地域への社員のボランティア活動を通じて、地域活力を呼び起こし、農山漁村の保全・活性化を推進しています。

徳島ヴォルティス

スポーツ文化の振興を通じて、地元の発展、地域の活性化に寄与したい。そうした地域社会貢献活動の一環として、わたしたちリブドゥコーポレーションは、生産工場のある地域のスポーツ活動を支援しています。3つの生産工場を展開する徳島県には、地元のJリーグサッカーチーム『徳島ヴォルティス』があります。2004年に四国初のJリーグクラブとして誕生しました。私たちは、「徳島ヴォルティス」のオフィシャルスポンサーとして地元地域の活性化とスポーツ文化の振興を願って全社を挙げて応援しています。元気なふるさと、元気な地域社会は、活力あるわたしたちリブドゥコーポレーションの原点となっています。



©徳島ヴォルティス

三好長慶 武者行列まつり

三好長慶は室町時代の後期に活躍。当時の畿内を全域に渡って掌握し、幕府の実権を握ったことから、織田信長や豊臣秀吉に先駆けた天下人として近年、様々な方面から注目を集めている戦国武将です。わたしたちリブドゥコーポレーションはこの祭への協賛を通じて、三好長慶を主人公とするNHK大河ドラマを、関係者が一体となって誘致する活動に賛同しています。



芳賀 町民祭

芳賀町浪漫太鼓の披露による伝統芸能の発信や特産品の梨などの農産物の品評会の開催、芳賀工業団地内の企業PRなどを目的とした芳賀町民祭に毎年参加。工業団地PRコーナーにサンプリングブースを設置し、地域住民の方々に尿失禁漏れの啓蒙活動を行っています。





多彩なコミュニティと共生していくことで、地域社会・文化の発展に寄与します

3. 地方創生支援

1. ノーマライゼーション支援

- ・ねたきりになら連
- ・エイブル・アート運動

2. 地域活性化支援

- ・とくしま農山漁村応援し隊
- ・徳島ヴォルティス
- ・三好長慶 武者行列まつり
- ・芳賀 町民祭

3. 地方創生支援

- ・企業版ふるさと納税
- ・ふるさと納税返礼品事業
- ・ネーミングライツ

4. 地域ニーズ対応

- ・献血バス
- ・地元採用
- ・部活動寄附

企業版ふるさと納税

わたしたちリブドゥコーポレーションをはじめとする連携6社は、2025年7月に福岡県筑前町と「使用済紙おむつの完全リサイクルに関する事業連携協定書」を締結し、現在は年間200トンの使用済紙おむつをリサイクルすることを目指しています。そこで、筑前町でのスムーズな「紙おむつの分別回収」と、連携6社の目標である「すべての回収素材をマテリアルリサイクルする完全リサイクル」の実現を加速化させるため、企業版ふるさと納税を活用した寄附を筑前町に対して実施しました。



地域	件数	寄附内容
栃木	1件	健康増進プロジェクト(芳賀町)
徳島	5件	『徳島新未来創生総合計画』に紐づく事業(徳島県)
		子育て応援ポイント付与事業(美馬市)
		暮らしやすい・子育てしやすい事業(三好市)
		産業振興による活力ある地域づくり事業(つるぎ町)
徳島	2件	結婚・出産・子育ての希望づくり事業(阿波市)
		産後ケア事業(阿波市)
愛媛	1件	第2期新居浜市総合戦略に基づく事業(新居浜市)
福岡	1件	使用済み紙おむつリサイクル事業(筑前町)

※令和7年度実績

ふるさと納税返礼品事業

わたしたちリブドゥコーポレーションは、個人版ふるさと納税制度(ふるさと納税返礼品提供事業)を通じて、生産工場が立地する自治体に寄附が少しでも集まるよう協力をしています。大人用紙おむつや軽失禁パッドを中心に返礼品に採用をいただいています。

ネーミングライツ

マイルール意識醸成を図るとともに、LRT利用者にとって停留場の場所の分かりやすさを補完するため、2022年9月にLRT副停留場名称ネーミングライツパートナーに応募しました。2023年2月には栃木芳賀工場(栃木県芳賀町)の最寄り停留所場となる「芳賀町工業団地管理センター前」停留場は、愛称である「リブドゥコーポレーション栃木芳賀工場前」が併記されることとなりました。2023年8月26日のLRT開業時から、停留場の総合案内板や車内音声アナウンス、車内モニター、芳賀町・宇都宮市が発行するパンフレットやホームページ・広報紙、宇都宮ライトレール株式会社(栃木県宇都宮市)が発行する時刻表やホームページの路線図などにも、わたしたちリブドゥコーポレーションの社名が掲載されています。



©宇都宮ライトレール

4. 地元ニーズ対応

献血バス

愛媛県赤十字血液センター(愛媛県松山市)より「愛媛県内は慢性的に血液が不足しており、非常に困っている状況のため、みなさんに献血を協力いただきたい」と2022年に依頼があり、愛媛新居浜工場(愛媛県新居浜市)にてアンケートを行ったところ、「協力したい」との声を多数もらい、毎年、就業時間中の献血に協力をしています。

地元採用

地域密着・地域貢献のため、地元採用を積極的に行い、生産工場の近隣にある高校から、毎年多くの若手が、わたしたちリブドゥコーポレーションの社員として加わっています。また、技術職や研究・開発職も四国地方の大学を中心に、採用を行っています。

入社年度	入社数	高卒			
		全国	愛媛	徳島	栃木
2019年度	計51名	19名	19名	8名	5名
2020年度	計46名	16名	15名	9名	6名
2021年度	計60名	33名	8名	7名	12名
2022年度	計50名	26名	10名	7名	7名
2023年度	計55名	23名	14名	9名	9名
2024年度	計59名	34名	12名	6名	7名
2025年度	計65名	34名	16名	5名	10名

※採用実績推移

部活動寄贈

スポーツ文化の振興を通じて、地元の発展、地域の活性化に寄与するため、2025年度より高卒採用実績校を中心とした「部活動」への寄贈品の贈呈を行っています。2025年度は、栃木県立益子芳星高等学校へのテント、栃木県立真岡工業高等学校へのサッカーボールの寄贈に対し栃木県知事から感謝状をいただきました。



社員の主体性と創造性を尊重するとともに、社会貢献への意欲を高める風土を育てます

1. 人財・組織づくり

1. 人財・組織づくり

- ・人事・評価制度
- ・自律的学び支援
- ・はいせつケア実証研修
- ・おむつフィッター育成支援

2. 働きがいがあり、魅力のある職場づくり

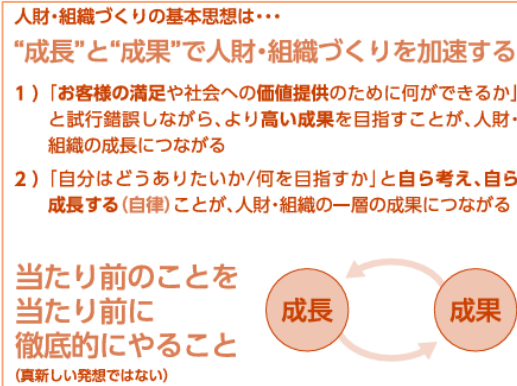
- ・ESスローガン
- ・65歳選択定年制度

3. リブサポ

- ・リブサポとは
- ・リブサポ休暇
- ・リブサポ 健康ファースト
- ・リブサポ ファミリーケア
- ・リブサポ はいせつ相談
- ・リブサポ あんしん療養制度

人事・評価制度

わたしたちリブドゥコーポレーションは「経営の好循環」の実現を目指し、その循環の出発点である「働きがいがあり魅力のある職場」作りに向けて、様々な環境や制度の整備を続けています。社員一人ひとりの成長に軸足を置き、期待する成長の方向性を明確に定め、日々の仕事の中で達成感を感じ、評価や昇給・賞与で成長度合いを実感できるようにします。



人事・評価制度「Livedo7」基本思想

自律的学び支援

「Live AS/リブアス=明日、なりたい自分になる」という自律的学びを支援する制度を導入しています。

わたしたちリブドゥコーポレーションは、より高い成果創出を継続するために、変化の激しいこの時代に、これまで以上に価値を高めるために、自律的にインプットを増やすこと（自律的学び）が重要と考えています。インプットを増やさないと、アウトプットは増えない、インプットの質が高くないとアウトプットの質にも限界がある。そのために、社員個々の“自ら成長しようとする意欲と行動”を後押ししています。

はいせつケア実証研修

わたしたちリブドゥコーポレーションは、株式会社はいせつ総合研究所のむつき庵（京都市上京区）より講師をお招きし、大人用紙おむつの販売に携わる営業やリフレサポーターを中心とした社員向けに、独自の「はいせつケア実証研修」を実施することで、排せつケアのスペシャリストを育成しています。



おむつフィッター育成支援

株式会社はいせつ総合研究所のむつき庵（京都市上京区）が認定する「おむつフィッター」は、単におむつの当て方を学ぶだけのものではありません。おむつや排泄用具はもとより、医療や住環境など、幅広い視点を持ち、ケアを行ったり助言ができる人を養成する研修です。

おむつフィッターは全国で1万人を超え、全国各地でより良い排泄ケアを実践しています。わたしたちリブドゥコーポレーションは、この活動を支援しています。

2. 働きがいがあり、魅力のある職場づくり

ESスローガン

「わたしたちは、社員とその家族が理想とするライフスタイル実現に向けて、一生懸命「生きる力」を支援します。また、社員一人ひとりが能力を発揮できる環境を整えることで、より熱く「生きる力」を応援する商品・サービスを創り出し、提供します。社会に貢献する喜びを共に実感するため、より強く「生きる力」を大切にします」

65歳選択定年制度

長年の勤務で培った知識と経験をもとに、60歳以降も、キャリアを拡げるあるいは蓄積しながら、最大65歳まで『現役』として活躍いただける制度です。そのため、50歳以降において、「自分らしい生き方の実現」を支援する制度も設けています。なお、60歳以降においては、社員一人ひとりのライフプランや健康状態、家庭環境に合わせて、より柔軟に働き方を選択できます。「永く安定して働ける」会社にする事で、経営の好循環の起点である「働きがいがあり魅力のある職場」に繋がります。

コース	主な取り組み内容
Sコース (specialist)	高いパフォーマンスを発揮しながら高い成果にこだわって働きたい方
Aコース (associate)	現状のコース・等級に応じたパフォーマンスを発揮しながら働きたい方
Fコース (fellow)	業務内容の見直し等も行い現状のパフォーマンスに見合った働き方をしたい方(短日・短時間勤務が可能)



社員の主体性と創造性を尊重するとともに、社会貢献への意欲を高める風土を育てます

3. リブサポ®

1. 人財・組織づくり

- ・人事・評価制度
- ・自律的学び支援
- ・はいせつケア実証研修
- ・おむつフィッター育成支援

2. 働きがいがあり、魅力のある職場づくり

- ・ESスローガン
- ・65歳選択定年制度

3. リブサポ

- ・リブサポとは
- ・リブサポ休暇
- ・リブサポ 健康ファースト
- ・リブサポ ファミリーケア
- ・リブサポ はいせつ相談
- ・リブサポ あんしん療養制度

リブサポとは

わたしたちリブドゥコーポレーションでは、「働きがいがあり魅力のある職場づくり」に向けて、多様性を尊重し、社員一人ひとりの力がより発揮でき、永く安心して働ける職場環境や福利厚生を充実を進めてきました。

その取り組みの中で、「リブドゥコーポレーションで働く社員やその家族の“生きる力を応援（サポート）する”」という、人財を経営の中心に置く当社の考え方を表した名称として、2019年から「リブサポ®」を各種福利厚生制度の名称冒頭に使用しています。

リブサポ休暇

当社独自の休暇（有給）制度で、家族の介護や看護はもちろんのこと、社員自身の病気療養や誕生日のご褒美、男性の育児休暇、公的なボランティア、不妊治療、障がい者の定期通院、診療を伴う療養を支援しています。リブサポ休暇は、会社として特にサポートしたい場合に限って年次有給休暇に上乗せする形で付与しています。万が一に備え、未使用分は最大15日まで積み立てることができます。

リブサポ 健康ファースト

専属の産業保健師と人事部門が連携し、社員一人ひとりが安心・安全に働けると同時に社員個々のこころとからだの健康に向けた取り組みを行っています。

主な取り組み内容
<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断結果に基づく保健指導 ・健康診断 再検査費用補助制度 ・健康に関する相談 ・休職、復職サポート ・長時間労働者に対するフォロー面談 ・リブサポ 健康Liveセミナー（健康啓発、睡眠、食事など） ・リブサポ こころの健康診断（ストレスチェック）

リブサポ ファミリーケア（紙おむつ支援）

介護を抱えるすべての人の「生きる力を応援する」企業として、その強みを活かしたいという想いから、お客様だけではなく、リブドゥコーポレーションで働く社員とその家族のみなさまに対して、当社ならではの福利厚生制度として、『リブサポ ファミリーケア～紙おむつ支援～』を2021年度より開始しました。併せて、「介護は誰にでも起こりうる」という、お互いさまの意識を持つことが大切であるため、今後も職場風土の醸成にも取り組んでいきます。

項目	概要												
対象者	<ul style="list-style-type: none"> ●同居別居問わず、要介護認定され、居宅で介護する次の家族が対象 <ul style="list-style-type: none"> ① 配偶者 ② 子 ③ 父母、配偶者の父母 ④ 自身の祖父母 ※申請可能人数は上記家族から2名を上限とする ※介護施設入所の場合でも当社の紙おむつを持ち込める場合は支援対象 												
提出書類	●「介護保険被保険者証」の写しなど												
付与ポイント	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>要介護1</th> <th>要介護2</th> <th>要介護3</th> <th>要介護4</th> <th>要介護5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>付与ポイント（半期）</td> <td colspan="2">5ポイント</td> <td colspan="3">10ポイント</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ●ポイントは、8月、2月の半期ごとに付与する。ただし、期中に対象者の追加や要介護度の変更等が生じた場合は、都度ポイントを付与する ●ポイントは、半期更新（8月、2月）とし、有効期限は、当該年度の1月末までとする 		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	付与ポイント（半期）	5ポイント		10ポイント		
	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5								
付与ポイント（半期）	5ポイント		10ポイント										

リブサポ はいせつ相談

介護を抱える社員の仕事との両立支援に繋がる当社独自の福利厚生制度として、リブサポ ファミリーケア（紙おむつ支援）に続き、家族の介護（主に排泄ケア）に関する悩みを排泄ケアのプロである株式会社はいせつ総合研究所のむつき庵（京都市上京区）に相談できる当社専用の相談窓口を設置しています。

リブサポ あんしん療養制度（GLTD制度）

万が一、病気やケガにより長期間仕事ができなくなった場合に収入を補償する制度です。リブドゥコーポレーションの社員一人ひとりが安心して長く働いてほしい、傷病により長期療養が必要な時には、収入不安なく療養に専念してほしい、そんな想いから、当社独自の設計で、補償内容を格段に手厚く設計しています。ライフプランに合わせて、社員および大切なご家族を守る制度として、活用いただいています。

補償内容
<ul style="list-style-type: none"> ・2年10か月間、手取り額相当を補償（最大80%） ・保険料は全額会社が負担 ・精神障害、妊娠、天災による就業障がいも補償 ・格安の保険料で、個人での保障の上乗せも可能 ・『親介護一時支払特約』ご自身または配偶者の親が要介護2以上の状態となった場合に保険金を受け取ることができる特約です。



時代に即した社会からの要請に真摯に向き合います

1. 企業の社会的責任

1. 企業の社会的責任

- ・勉強会・セミナー開催
- ・被災地域支援
- ・スタディクーポン支援
- ・アダプテッドスポーツ支援
- ・海外医療協力隊支援

勉強会・セミナー開催

わたしたちリブドゥコーポレーションでは、大人用紙おむつや手術準備用キットの製造・販売だけでなく、勉強会やセミナー発表を行うことで「介護と医療」の支援も行っています。リフレサポーターによる勉強会では、介護施設で働く方や地域で住まわれる方に対し、正しいおむつのあて方・選び方を。メディカル事業では、手術室運営でのお役立ち情報を各種学会の共催セミナーで発表しています。わたしたちリブドゥコーポレーションは引き続き、進展する超高齢化社会を支えていきます。



紙おむつのあて方・選び方の勉強会



手術室運営のお役立ち情報セミナー

被災地域支援

災害が発生した場合は、業界団体などを通じて救援物資の支援を行っています。近年では、東日本大震災(2011年3月)、熊本地震(2016年4月)、西日本集中豪雨(2018年7月)、能登半島地震(2024年1月)などにおいて大人用紙おむつやプラスチック手袋、サージカルマスクなどの救援物資の提供を行いました。



スタディクーポン支援

公益財団法人チャンス・フォー・チルドレン(略称:CFC/東京都墨田区)は、震災などで経済的な困難を抱える子どもたちに対して、スタディクーポンを提供している団体です。わたしたちリブドゥコーポレーションは、2012年よりCFCの活動を応援しています。



©公益財団法人チャンス・フォー・チルドレン

アダプテッドスポーツ支援

わたしたちリブドゥコーポレーションが運営をしている、介護用紙おむつの通販「まごころサポート」では、売り上げの一部を障がい者スポーツを支援する活動を行う団体、特定非営利活動法人であるアダプテッドスポーツ・サポートセンター(略称:ASSC/大阪市天王寺区)に寄附をしています。



©特定非営利活動法人アダプテッドスポーツ・サポートセンター

海外医療協力隊支援

NGO(民間非政府組織)である「アフリカ眼科医療を支援する会」、英語名: Association for Ophthalmic Support in Africa (略称:AOSA/徳島県徳島市・新潟市中央区)は、アイキャンプと称して、モザンビーク共和国に医師を派遣し、手術施行や技術支援、教育活動をしています。わたしたちリブドゥコーポレーションは、2014年よりAOSAの活動を応援。メディカル事業部より、手術に使用する物品の提供をしています。



©AOSA

ESG



リスクマネジメントを通じて、持続可能な社会実現における企業の責任を追及します

1. 災害時の対応

1. 災害時の対応

- ・事業継続計画
- ・安否確認
- ・災害備蓄品

事業継続計画

リスク管理委員会傘下のBCP分科会では、事業継続計画を策定すると同時に、災害時訓練も続けてきました。2021年10月には、徳島貞光工場と愛媛新居浜工場、そして大阪本社3拠点合同による、第1回BCP対策本部設置訓練を実施しました。今後も訓練を重ね、気づきや改善点をBCPIに反映していきます。

Level	高 Level 3	中 Level 2	低 Level 1	
地震	状況	震度5強以上	—	震度5弱以下
	地域	当社事業所が所在する都道府県の市区町村	—	それ以外の地域
	対応	自動設置	—	設置不要(発生場所を問わず)
その他(台風(水害)など)	状況	大雨特別警報/緊急安全確保	土砂災害警戒情報/避難指示	—
	地域	当社事業所が所在する都道府県の市区町村	当社事業所が所在する都道府県の市区町村(緊急避難時は別レベル参照)	それ以外の地域
	対応	自動設置	任意設置(対策本部事務局長が指示)	設置不要

※災害対策本部の設置基準

役割機能	対策本部(全社対応)	各事業所(現地対応)
安全確保	社員家族の安否確認 被害状況の情報収集(インフラ等)	社員家族の安否確認 消火活動、危険物の管理 被害状況の情報収集(インフラ等)
被害確認	建物/設備への被害確認 システムおよびSCMの機能確認	建物/設備への被害確認 システムおよびSCMの機能確認
外部渉外	取引先、仕入先の状況確認 物流状況の確認 社会インフラの確認	取引先、仕入先の状況確認 物流状況の確認 社会インフラの確認
指示命令	人命確保/事業継続に関する指揮	—
救護	—	負傷者の手当てや応急救護 医療機関への輸送
避難誘導	—	社員、周辺住民の安全確保
地域貢献	災害支援の決定/実行	災害支援の実行

※災害対応機能

安否確認

災害時、メールやインターネット、電話といったさまざまな方法で社員の安否が確認できる体制を整えています。また、「防災とボランティア週間」などに合わせて、全社安否確認訓練を定期的実施しています。



災害備蓄品

わたしたちリブドゥコーポレーションが有する全国各地の事業拠点や生産工場、また社有車などには災害備蓄品やヘルメットなどを常備しています。





透明性の高い経営を行い、社会から信用・信頼される企業を目指します

1. 企業の透明性

1. 企業の透明性

- ・コンプライアンス行動指針
- ・個人情報保護方針
- ・情報セキュリティ基本方針
- ・お客様対応方針
- ・医療機関との透明性指針

コンプライアンス行動指針

社員は、日常の業務を遂行するうえで、企業の社会的責任を全うすることが、リブドゥコーポレーションの企業価値の向上につながることを認識する。この行動指針は、企業理念を行動規範とし、コンプライアンスの観点からまとめたものであり、社員は、この行動指針に定めた事項を誠実に遵守することを会社に対し誓約する。

基本方針
<p>1) 社会との関係</p> <p>①企業の社会的責任を認識し、事業活動をおこなうにあたっては、国内外の法令・規則などを確認、理解のうえ、必要な許認可を取得するなど、各種業法を遵守する。</p> <p>②地球環境の保全に向けて最善を尽くすため、関係法令および各種規制を遵守し、製品の製造から流通、使用後の廃棄に至るまで、製品ライフサイクルの全過程にわたって、環境の改善に配慮して行動する。</p> <p>③反社会的勢力および団体に対しては、毅然と態度を臨み、一切の関係を遮断する。</p> <p>④国内外の公務員に対し、贈わいる賄行為や不正な利益の供与、約束を行わない。</p> <p>⑤当社が、献金もしくは、寄付行為を行う場合、または政治資金パーティー券を購入する場合は、法令および当社規程に則って行う。</p> <p>2) 顧客・取引先との関係</p> <p>①お客様が満足しそして信頼していただける安全で高い品質の商品やサービスを提供する。</p> <p>②物品、サービスなどの調達にあたっては、取引先において広く取引機会の均等を図る必要があることを認識し、公正な取引を行う。</p> <p>3) 株主との関係</p> <p>会社の経営内容、事業活動状況等について、正しい理解と評価を得るため、信頼性のある正確な情報を適時、適切な方法で開示する。</p> <p>4) 社員との関係</p> <p>①あらゆる企業活動の場面において関係法令、社内規程およびこの行動指針を遵守する。</p> <p>②人権を尊重し、人種、宗教、性別、国籍、年齢、身体障害などによる差別、セクシュアルハラスメント、パワーハラスメントまたは暴力行為など、相手に不快感を与えるような言動または行為を行わない。</p> <p>③職場の安全確保と安全行動を実践し、安全で快適な職場環境を目指す。</p> <p>④誠実に当社の業務を遂行し、会社の利益に反する行為は行わない。</p> <p>⑤法令もしくは社内規程等の違反行為またはその疑いのある行為があることを知った場合、上司、コンプライアンス相談窓口または人事部等の適切な部門に相談・通報する。</p> <p>5) 会社財産・情報の管理</p> <p>①法令および社内規程等に基づき、適正な会計処理を行う。</p> <p>②社員、顧客、取引先、株主その他の個人のプライバシーに関する情報を業務以外で収集、利用しない。情報の取り扱いについては「個人情報保護基本規程」などに則り、漏洩することのないよう充分に管理する。</p>

個人情報保護方針

リブドゥコーポレーションは、個人情報保護の重要性に鑑み、以下の方針に基づき個人情報の保護に努めます。

基本方針
<p>適正な管理</p> <p>当社は、個人情報保護管理者のもとに個人情報を取り扱う個人情報取扱責任者を置き、個人情報の適切な管理に努めます。</p> <p>利用目的の告知</p> <p>当社は、個人情報を収集する場合は、利用目的、問い合わせ窓口などを明示し、利用目的の達成に必要な範囲の個人情報といたします。</p> <p>個人情報の利用</p> <p>当社は、個人情報の利用について、あらかじめ明示した利用目的の範囲内での利用に限定いたします。</p> <p>第三者への提供</p> <p>当社は、収集した個人情報は、適切に管理し、法令に定められた例外を除き、本人の承認なく、第三者に開示・提供することはありません。また、個人情報を業務委託先に預託する場合は、安全管理に関する契約を締結し、その委託先からの漏えい・再提供の防止などを図ります。</p> <p>個人情報に関する権利尊重</p> <p>当社は、個人情報に関する個人の権利を尊重し、本人から保有する個人情報に関する利用目的の通知、開示、訂正、削除、利用停止、消去を求められたときは、法令に定められた例外を除き、遅滞なくこれに応じます。</p> <p>安全管理対策の実施</p> <p>当社は、個人情報の紛失、破壊、改ざんおよび漏えい等を防止するため、不正アクセス対策、コンピュータウイルス対策など、適切な情報セキュリティ対策を実施いたします。</p> <p>個人情報保護管理の改善・維持</p> <p>当社は、従業員(正社員、寄託社員、派遣社員、非常勤、契約社員、アルバイト、パートタイマーなどを含む)、および利害関係者(提携先企業、アウトソース先企業、サービスプロバイダなど)に当社の規定する個人情報保護管理を周知徹底させ、適時・適切に改善維持をしていきます。</p> <p>法令およびその他の規範の遵守</p> <p>当社は、個人情報に関する法令およびその他の規範を遵守いたします。</p>

情報セキュリティ基本方針

リブドゥコーポレーションではお客様の様々な情報資産をお預かりしており、情報資産をあらゆる脅威から守り、お客様そして社会全体の信頼に添えていくことの重要性について強く認識しております。また、事業の継続的そして安定的な運営を行っていくためには、情報資産を重要な資産と位置付け、保護・管理していかなければならないとも考えております。

基本方針
<p>当社は、情報資産を保護していくために、情報資産を維持していくこと、つまり情報セキュリティを確保するための指針として、情報セキュリティ基本方針を次の通りに定めるとともに、全社員がこれらを遵守いたします。</p> <p>体制の構築及び維持・改善</p> <p>情報セキュリティを確保するための社内体制として、全社的なマネジメント体制を構築すると共に、その運用を社内規程化し、厳正な管理の下で運用します。また、法令や情報技術等の変化に合わせて、適宜本体制の見直しを行い、継続的な改善に努めます。</p> <p>法令及びその他の規範への遵守</p> <p>情報セキュリティに関連する法令、その他の規範や契約上の要求事項を遵守した適正な情報資産の保護・管理を行っていくために、これらの要求事項を特定し、全社員に周知します。</p> <p>社員の取り組み</p> <p>情報セキュリティの重要性を全社員が理解し、適切な取扱いを実施するよう、定期的な情報セキュリティに関する教育・訓練を行い、教育啓発に努めます。</p> <p>情報セキュリティ対策</p> <p>情報資産に対するリスクの分析・評価を行い、その結果に基づく適切な情報セキュリティ対策を実施します。</p> <p>違反及び事故への対応</p> <p>情報セキュリティに関わる法令違反、契約違反及び事故(情報セキュリティインシデント)が発生した際には迅速に対応を行い、被害を最小限にとどめるよう努力します。また、その原因を究明し、再発の防止に取り組みます。</p>



透明性の高い経営を行い、社会から信用・信頼される企業を目指します

1. 企業の透明性

1. 企業の透明性

- ・コンプライアンス行動指針
- ・個人情報保護方針
- ・情報セキュリティ基本方針
- ・**お客様対応方針**
- ・**医療機関との透明性指針**

お客様対応方針

当社は「お客様の満足を追求し、お客様の視点で素早い問題解決に努める」という考えのもと、お客様対応における具体的な方針として、「お客様対応方針」を制定いたしました。

基本理念
お客様の満足を追求し、お客様の視点で素早い問題解決に努めます
行動指針
<p>1. お客様満足の追求 わたしたちは、お客様の視点に立ち、常に公平・公正かつ迅速・丁寧に対応いたします。</p> <p>2. お客様理解の深化 わたしたちは、お客様の状況やお気持ちを理解するために「傾聴」の姿勢を忘れません。</p> <p>3. 的確な情報提供 わたしたちは、お客様のお役に立つ情報を的確にわかりやすく提供いたします。</p> <p>4. 製品・サービスの開発と品質の向上 わたしたちは、お客様からいただいたお声を社内共有し、製品・サービスの開発、品質の向上に努めます。</p> <p>5. 法令及び自主基準等の遵守 わたしたちは、個人情報保護法をはじめとする関連法規および社内自主基準を遵守し、誠実に行動いたします。</p>

医療機関等との透明性指針

医療関連産業の一環として医療機器の製造・販売に関わる企業においては、医療機関と医療関係者との産業連携活動は不可欠であり、これは医療機関・医療関係者との契約等に基づき実施されております。

そこには公正で適正な判断のもとに行われる活動であることの透明性のみならず、より高い倫理性を担保することが求められます。当社は、日本医療機器産業連合会で定める「倫理綱領」「企業行動憲章」等の精神に則り、当社独自の「企業活動と医療機関等との関係の透明性に関する指針」を制定し、冒頭の社会的要請に応えるべく、企業活動における医療機関等への資金提供に関する以下の情報を公開いたします。

基本方針
<p>A. 研究開発費等 研究開発費等には、公的規制のもとで実施される各種試験、報告、調査等（臨床試験、治験、製造販売後臨床試験、不具合・感染症症例報告、製造販売後調査等）および企業が独自に行う調査等の費用を含みます。</p> <p>B. 学術研究助成費 医療技術の学術振興や研究助成を目的として行われる奨学寄附金、一般寄附金、および学会等の会合開催を支援するための学会寄附金、学会共催費。</p> <p>C. 原稿執筆料等 自社医療機器等の適正使用等に関する情報提供のための講演や原稿執筆、コンサルティング等業務委託に関する費用等。</p> <p>D. 情報提供関連費 医療技術の学術振興や研究助成を目的として行われる奨学寄附金、一般寄附金、および学会等の会合開催を支援するための学会寄附金、学会共催費。</p> <p>E. その他の費用</p>



リブドゥコーポレーション